

ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

地区年度テーマ

『よりそう奉仕・ロータリー』

今月は『環境月間』

4 | Vo.10
2025国際ロータリー第2620地区
2024-25年度 ガバナー

小泉 久司 (甲府西 RC)

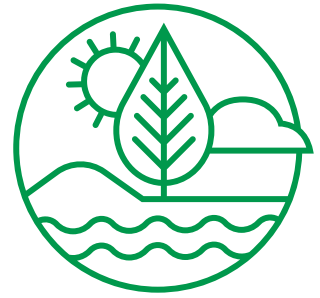
春爛漫の美しい季節になりました。ガバナーとして地区内外を移動しながら、この季節ならではの景色を楽しんでおります。一方で、今年は花粉の飛散も多いようですから、毎日ムズムズしている方も多いのではないかと拝察いたします。

さて、今年度はオーランドで開催される国際協議会が2月に開かれましたので、3月1日に地区チーム研修セミナーがZoomで、会長エレクトラーニングセミナーは22日に伊東市観光会館で開催されました。次年度へ向けたセミナーが立て続けで開催され、稲葉ガバナー年度へ向けての準備が着々と進められております。

また、静岡第3グループと第4グループ、山梨第2グループのIM、RLI、青少年交換小委員会、米山奨学生期間終了式などがございました。米山奨学生の皆さんは、カウンセラーそして世話クラブとの信頼関係を築き、無事にこの日を迎えました。皆さんが飛躍される未来に思いをはせて、心からご活躍を祈念しています。



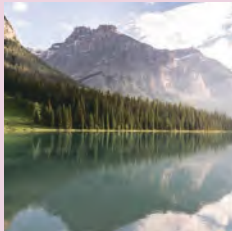
4月は環境月間



環境

さて、4月は環境月間です。

国際ロータリーは、2021年7月1日から「環境」を重点分野に正式に追加しました。ロータリーは、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援します。補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環境破壊の原因、およびその影響の削減に取り組みます。ロータリー財団は、ロータリー会員と地域社会の協力者たちによる以下のような活動に補助金を提供します。



陸地、沿岸、海洋、淡水資源の保護と回復



天然資源の管理と保全を支援する地域社会の能力向上



持続可能な農業、漁業、水産養殖の実践の支援



気候変動の影響を受ける生態系と地域社会の強化



温室効果ガスの排出削減による気候変動の原因への取り組み



環境を守る行動を促すための教育イニシアチブの支援



より資源効率の高い経済を築くための持続可能な消費の提唱



環境正義の問題と公衆衛生上の懸念への取り組み

当地区内でも、多くのクラブが地域の「環境」に関連する活動を展開されております。環境問題は多岐にわたりますが、2018-19年度RI会長のバリー・ラシン氏は当時、「環境は究極の使命」と語りました。“THE MAGIC OF ROTARY”を実現していけるよう、力を合わせてまいりましょう。

国際ロータリー第 2620 地区

静岡第 3 グループインターシティーミーティング

2025 年 3 月 2 日（日）、静岡市のホテルグランヒルズ静岡を会場に静岡第 3 グループ杉山元ガバナー補佐主催の下、静岡西ロータリークラブがホストクラブとして、グループ内 11 のロータリークラブから多くのロータリアンが参加をして盛大にインターシティーミーティングが開催されました。来賓として静岡市長の難波喬司様、基調講演講師として J リーグ第 5 代チェアマンで公益社団法人日本バトミントン協会会長、日本プロサッカーリーグ名誉会員の村井満様がご臨席されておりました。杉山ガバナー補佐の IM テーマは「ロータリーマジックで地域を変えよう」です。数年後のあるべきクラブの姿を念頭に新しい方向を求め、次世代を見据えた活動を実現するために英知と経験と志を集約してその「タネ」を仕掛けていく事こそ「ロータリーのマジック」に通じるとお話をされました。

その後、次年度ガバナー補佐大川美代子様（清水西 RC）のご紹介とご挨拶がありました。続いて、基調講演では村井 満様より「天日干しが会社を変える！社会を変える！」と題し、先の見えない時代をどう生きるか？透明性を高める天日干し経営についての講演をされました。とても興味深く、参考になるお話を聞かせていただきました。

懇親会では IM 実行委員長のス波幹和様と杉山ガバナー補佐が司会をしての楽しいアトラクションがあり、参加した皆さんが大いに盛り上がり楽しく充実したインターシティーミーティングでした。

杉山ガバナー補佐、大変お疲れ様でした。



国際ロータリー第2620地区

静岡第4グループインターシティーミーティング

2025年3月8日（土）、藤枝市のはれの季小杉苑を会場にインターシティーミーティングが開催されました。静岡第4グループ若林秀典ガバナー補佐主催の下、藤枝南ロータリークラブがホストクラブとしてグループ内9つのロータリークラブから多くのロータリアンにご参加いただきました。来賓として藤枝市長の北村正平様、藤枝商工会議所会頭の山田壽久様、講演講師として歴史民俗学者八木洋行氏をご臨席されました。

若林ガバナー補佐がIMのテーマとして選んだ言葉は「陰徳陽報」です。「人に知られず良い行いをしていれば、その報いは必ずある」ということわざです。1950年にデトロイトで開催されたRI国際大会で、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる（He Profits Most Who Serves Best）」と「超我の奉仕（Service Above Self）」に修正され、ロータリーの公式標語として正式に承認されました。1989年の規定審議会では、「超我の奉仕」がロータリーの第一標語として採択されました。

静岡第4グループの合同奉仕事業では「子ども食堂の支援」を掲げました。当初お米不足が心配されましたが、事業が始まる9月頃にはお米が準備でき焼津・焼津南の子ども食堂を皮切りに9クラブ（7市2町）の社協にお米を寄贈したそうです。子ども食堂の責任者の方々からも大変感謝され、今後も社会貢献のためにこの事業を続けていきたいとお話しされました。その後「東海道でつながる町」と題して歴史民俗学者の八木洋行氏が講演されました。

終了後に、次年度の静岡第4グループガバナー補佐の杉本 昭様（焼津 RC）のご挨拶と次期ホストクラブ会長の挨拶後、懇親会に進み大いに盛り上がり、楽しく充実したインターシティーミーティングでした。

若林ガバナー補佐、大変お疲れ様でした。



国際ロータリー第2620地区

山梨第2グループインターシティーミーティング

2025年3月9日（日）、甲府市にあるリッチダイヤモンド総合市民会館芸術ホールを会場に山梨第2グループのインターシティーミーティングが開催されました。田村ひろ子ガバナー補佐主催の下、甲府中央ロータリークラブがホストクラブとしてグループ内7ロータリークラブから多くのロータリアンが参加され盛況に開催されました。今回のインターシティーミーティングのテーマは「子宮頸がんを市民と共に考える会」と題し市民の皆様にも参加していただき、共に考える機会とされました。

本会議では田村ガバナー補佐のご挨拶に続き、次年度ガバナー補佐鈴木信行様（甲府北RC）のご紹介などがありました。本会議終了後には市民の皆様にも参加していただき「子宮頸がん」に苦しむ女性の姿を映画にした「いのちのコール」を鑑賞しました。この映画は甲府中央ロータリークラブの会員でもあります小池和洋様がプロデューサーを務めて2014年6月に劇場公開された、子宮頸がんを去った女性の手記に基づくヒューマン・ドラマです。闘病に疲れ、愛する人にも見捨てられて人生に絶望していく女性の心のさまよいをドラマチックに描いているストーリーでした。約90分の上映でしたが、あっという間で、感銘を受けました。映画終了後には子宮頸がんの基礎知識講座と題して山梨県出身の現役の医師 石澤瑠璃子様と石澤満優子様のパネルディスカッションが行われ、医師ならではの視点から、子宮頸がんに対する最新の取り組みや課題についてわかりやすく解説をされました。市民の皆様にも参加していただき開催されたインターシティーミーティングでとてもよかったですと思います。

田村ガバナー補佐、お疲れ様でした。



甲府南ロータリークラブ グローバル補助金事業

甲府南ロータリークラブとバンコクのサランロム・タープラロータリークラブと共同で取り組んだグローバル補助金事業プロジェクトの「寄贈式」が3月7日、ソムデック・プラ・ピンクラオ病院で行われました。甲府南ロータリークラブから望月瑠華会長と白井良一会員が出席しました。

また、地区からは中村幸夫ロータリー財団委員会補助金小委員会委員長が出席されました。今回の事業はソムデック・プラ・ピンクラオ病院への「ロータリーの愛とケア」という事業名で、産科用の手術用ベッドを寄贈しました。事業費は\$ 48,600で日本円にして約730万円です。この病院はタイの海軍が運営する病院で、年間60万人の外来患者と1万5千人の入院患者を受け入れています。産科用の手術ベッドが1台破損して早急に必要であることから、今回グローバル補助金事業で新しいベッドを寄贈することになりました。これにより、年間140件の手術を行えるようになり、多くの患者さんを救うことができるようになります。



米山奨学生期間終了式

米山奨学生期間終了式が3月16日、静岡市の中島屋グランドホテルで開かれました。小泉久司ガバナー、稲葉雅之ガバナーエレクト、若林秀典ガバナーノミニーをはじめ、米山奨学生、米山学友会、クラブ会長、カウンセラー、地区米山記念奨学委員会のメンバーの約80名が出席しました。

開会点鐘の後、ガバナー・ガバナーエレクトの挨拶に続き、三浦顯承委員長が出席者を紹介。小泉ガバナーから終了証と感謝状が贈呈されました。世話クラブカウンセラーを代表して、駿河RCの佐野博美会員が贈る言葉を述べられ、米山記念奨学生を代表し、李江華さんが感謝の言葉を述べました。

閉会点鐘後は懇親会に移り、親交を深める有意義な時間を過ごしました。



会長エレクトラーニングセミナーを伊東市観光会館で開催

会長エレクトラーニングセミナーは3月22日(土)、伊東西RCをホストクラブとして、伊東市観光会館で開催されました。小泉久司ガバナーをはじめ、次期地区ラーニング委員会のパストガバナーの皆様、稲葉雅之ガバナーエレクト、若林秀典ガバナーノミニ、次期ガバナー補佐の皆様、次期公共イメージ・奉仕活動・米山記念奨学・国際大会推進委員長、会長・幹事エレクトの約230名の皆様が出席されました。

午前10時50分のガバナーによる開会点鐘に始まり、浅原諒蔵次期地区ラーニング委員長による「会長エレクトラーニングセミナーの意義」についての解説に続き、稲葉ガバナーエレクトがRIの話題・方向性の説明と地区の方針・計画等につき詳細にわたり解説されました。その後、稲葉衛次期地区財務委員長が地区予算の説明を行いました。昼食後は会長エレクト部会、次期幹事部会、次期ガバナー補佐部会の3つの部会に分かれ分科会が開かれました。その後は次期ガバナー補佐のリードのもと、グループ別会議が開かれました。

午後2時50分から本会議となり、第2地域ロータリーコーディネーターで規定審議会代表議員の野口英一パストガバナーが「国際ロータリーの変化と行動計画」と題した講話を行いました。その後は委員会からのお知らせ、米山梅吉記念館理事長の松村友吉パストガバナーからの挨拶があり、質疑応答へと移りました。最後に小泉ガバナーの総評、稲葉エレクトの謝辞に続き、増田真啓ホストクラブ会長が閉会の言葉を述べ、閉会点鐘となりました。



お 悔 み



国際ロータリー第 2620 地区パストガバナー（2011-12 年度ガバナー）積惟貞様（沼津 RC）は 2025 年 3 月 16 日、ご逝去されました。89 歳でした。

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。